

先端複合材料×アウトリガー敷板

高所作業現場の“未来のカタチ”



工事班のみなさまへ

毎日の現場作業、お疲れ様です。

普段お使いの木製アウトリガー敷板（8.5kg）が重たく
日々の作業が負担になっていませんか？

皆様からの“お困りの声”をいただき
丈夫でより軽量なアウトリガー敷板の開発を目指し
この度、FRP（繊維強化プラスチック）と呼ばれる先端複合材料を
使用した、新たな敷板「らく敷」（3.6kg）を開発いたしました。

人々の暮らし・安全を守る、皆様のご活躍を
「らく敷」がサポートいたします。

● 北陸電話工事(株)様より


NTT西日本様への**VE提案中!**

● **特許取得済!** (特許第7672725号)

● **採用実績多数!** (NTT東日本様、NTTフィールドテクノ様、
コムシスグループ企業様、他)



Size : W353 × D353 × H30 (mm)

 **サンコロナ小田株式会社**

新規事業開発本部 新規事業開発部
〒923-0311 石川県小松市木場町力81
☐ TEL: 0761-43-2268 ☐ FAX: 0761-43-1762
☐ Mail: Flexcarbon@sunoda.co.jp



弊社HPIはこちらから

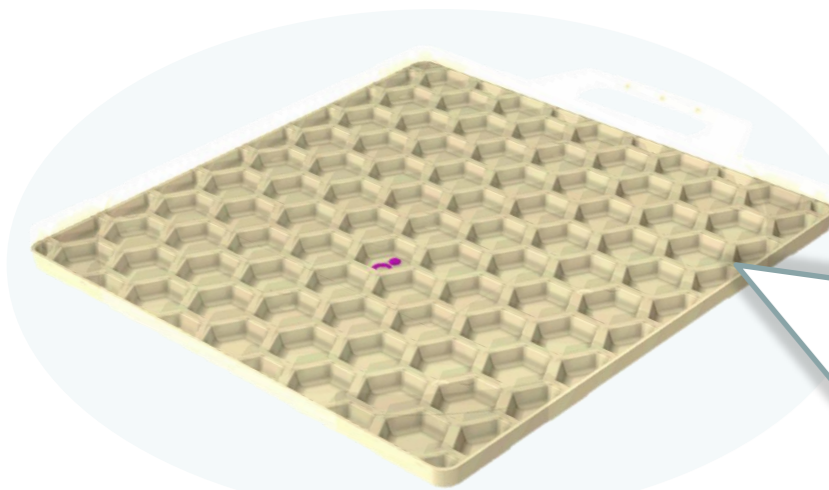
“ 楽に運べて敷きやすい ” 現場作業の新たな時代を創る FRP製アウトリガー敷板 「らく敷」

● 木製敷板の半分以下に 軽量化

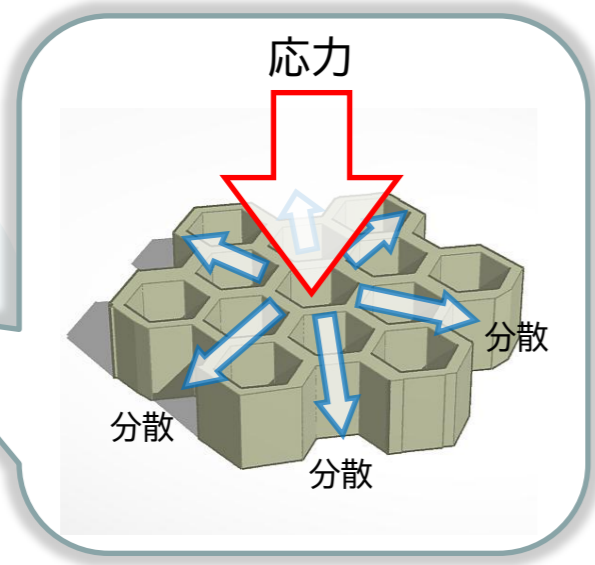


約58%の軽量化!

● 「ハニカム構造」で軽量・高強度 を実現 (耐荷重5t)

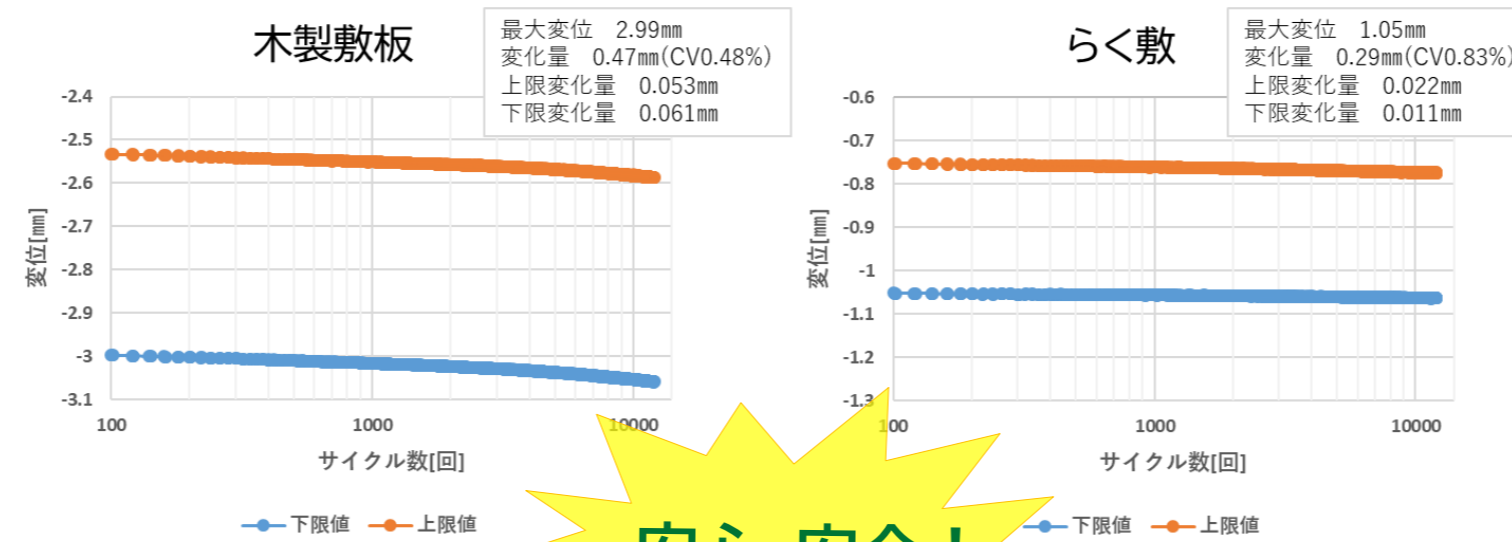


らく敷 内部のハニカム構造



ハニカム構造が強い理由

● 木製敷板と同等の 耐久性 (=疲労試験における変形しにくさ)



安心・安全!

5年間の使用を想定した耐久テストをクリア ※1 (荷重値:10t = 安全率200% ※2)
(= アウトリガー張り出し回数 10回/日 × 20日間/月 × 5年間 = 12,000回の繰り返し荷重)

● 重ね合わせ での使用が可能 ※3

従来品の 格納スペースに対応 ※4



※1) 当社規格の試験結果に基づきます。
 ※2) 一般的な通信工所用高所作業車の最大ジャッキ反力:5t (当社調べ)に基づきます。
 ※3) 重ね合わせ使用については各事業所のルールに従ってください。
 ※4) 一部の車両では格納スペースに収納できない場合があります。

● 材料特性 の比較

	木製敷板		当社敷板(らく敷)	
耐水性	吸水性があり、腐朽しやすい	△	吸水性はない	○
耐候性	紫外線劣化による 吸水・腐朽の促進が懸念	△	紫外線劣化が起こりにくい	○
耐食性 (金属部分)	鉄製で錆びやすい	△	アルミ製で錆びにくい	○
重量安定性	吸水することで、さらに重くなる	×	重量変化はない	○

ストレスフリー!

● 作業性・快適性 の比較

	木製敷板		当社敷板(らく敷)	
労働負荷	重いため身体への負担が大きい	×	軽くて身体への負担が少ない	○
作業効率	1枚ずつ設置することが一般的	△	2枚同時に持ち運べ、時短効果	○
視認性	路面状態や天候、時間帯によって 設置確認がしづらい場合がある	△	黄色で目立つため 設置確認がしやすい	○
劣化による影響	老朽化すると、ささくれが発生し 手に刺さる場合がある	△	老朽化してもささくれず 安心して使える	○
季節による影響	季節によって、持ち手が 熱く/冷たくなりやすい	△	持ち手が熱く/冷たくなりやすく 年中快適に持ち運びができる	○

ご注意:

- 最大ジャッキ反力が5,000kgを超える架装対象車両では使用できません。
- アウトリガーは必ず本製品の中心に設置してください。
- 舗装路面以外(畦畔、砂利地、ぬかるみ等)では使用しないでください。また舗装路面であっても、段差や大きく凹凸のある場所には設置しないでください。
- 穴や溝の上に橋掛けて使用しないでください。
- 本製品の耐久年数は使用開始から5年です(使用条件により異なります)。耐久年数を過ぎている製品をお使いの場合は、できるだけすみやかな更新をおすすめいたします。
- 耐久年数にかかわらず、万が一敷板(又は部品)に明らかな変形や重大な破損があった場合は、直ちに使用を中止してください。